

政策	62 商工業の振興						
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	有	受益者負担	適正	
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有	
対象	市内商工業者						
基本施策目的	まちの魅力や市民生活の利便性の向上に資する商業機能の再生や活性化を図る。 まちの活力を生み出す経済的基盤として工業全体の競争力の強化を図る。						
成果指標	市内商工業の総売上高（単位：億円）						
目標達成状況			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	成果指標1 [ ]	予定	8,900.00	8,920.00	8,950.00	8,970.00	9,000.00
		実績	8,914.95				
	成果指標2 [ ]	予定					
		実績					
	成果指標3 [ ]	予定					
		実績					
	成果指標4 [ ]	予定					
実績							
トータルコスト (千円)	予定	2,756,047			0	0	
	実績	2,755,778			0	0	
内部評価	貢献度	基本方針の目指す姿は、商業の活性化や工業の競争力強化を図ることで実現されるため、本施策目標「商工業総売上高の向上」は、基本方針の実現に大きく貢献するものである。					
	達成状況	市内商工業の総売上高は、目標どおり進捗しているが、下位単位施策の目標である市内事業所数については、約3%減少し、目標が未達となった。					
	課題	事業所数の減少が課題であることから、本市の開業数が少なく廃業数が多い実態を調査・研究し、その原因を究明する必要がある。					
	取組方針	本年度、事業所数の減少の原因を分析した上で、次年度で課題解決策を検討する。					
外部評価	<p>本施策の目標値である市内商工業の総売上高については、目標値を上回り達成されており評価できる。</p> <p>商工団体と連携し空き店舗対策を推進するとともに観光協会等と連携して観光客誘客による売上額増を目指して行くこと。</p> <p>小布施のまちづくりを参考に商工団体と協力し、まちづくりを丁寧に進めることで、魅力が向上し観光客が再訪問してもらえる取組が重要である。</p> <p>各商店街単独では人を集めることは難しいので、市内商店街や県南地域などの広域的な連携について検討する。</p> <p>融資制度の対象については新規だけでなく既存の商店を含めもっと周知を図ること。</p>						
基本施策達成のための単位施策	施策コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度
	6201	商業の振興				56,087	100
	6202	工業の振興				2,699,691	97